



高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくためには、**地域の人々と顔の見える関係**を築き、**お互いに支え合う**ことが大切です。サークル活動、趣味の仲間、近所付き合いやお茶飲み仲間など、人と人とのつながりは「**地域のお宝**」であり、楽しく生きるための力になります。

今回は、沢野地区の**女性カラオケ愛好会**についてご紹介します。

沢野地区 牛沢町「ほのぼの会」



女性カラオケ愛好会「ほのぼの会」は、平成3年に発足し、7年前に現在の名前に改称しました。現在は5名の会員が、毎月2回、金曜日の午後1時から3時まで牛沢会館に集まり、カラオケを楽しんでいます。以前は20名を超える会員がいましたが、会員の高齢化などにより、現在は少人数となりました。それでも「歌うことが楽しみ」と仲間との交流を大切にしながら活動を続けています。



飲食をしながらカラオケを楽しむ様子



会長 中島 幸子さん(92)

発足時から会長を務める中島幸子さんは、幼い頃から歌や音楽に親しみ、作曲にも取り組んできました。

25年前には、当時の区長とともに、牛沢町のオリジナル曲「牛沢慕情」を制作しました。中島さんは「今は、やりたいことをやりたいようにやっています」と話します。

毎朝4時30分に起床し、畑仕事や草むしり、3匹の猫の世話、炊事や洗濯など、身の回りのことをほとんど自分でこなしています。自宅では野菜や花を育てており、この日も、自ら収穫したスイカや枝豆を参加者全員に振る舞ってくれました。

地域のお宝発見 ～ 太田市生活支援体制整備事業 ～

★会員の紹介★



中里 セキさん(95)

長年、ほのぼの会の会計を担当してきました。以前は和裁や洋裁を習っており、今でもそろばんを使ったり、文字を書いたりするなど、意識して指先を動かしています。「この会は私の生きがいになっています」と話してくれました。



金井 末子さん(91)

「この年齢になると、同世代の人が身近に少なくなってきました。そんな中、ほのぼの会では年の近い方々と会えるので、話も弾み、毎回参加するのを楽しみにしています」と、笑顔で話してくれました。



茂呂 徳江さん(88)

高橋 いち子さん(86)

茂呂徳江さんと高橋いち子さんの自宅は隣同士で共にお一人暮らし。毎日のようにお裾分けやお茶飲みをする仲です。お互いの家がよく見えるため、「カーテンが開いたな」「洗濯しているな」など、日々の様子を感じ取ることができます。こうした日常のつながりが、さりげない見守りにもなっています。大雨や台風、地震などの災害時には、どちらからともなく電話をかけ、お互いの無事を確認しています。

地元牛沢町には会員を募る応援団がいます



ほのぼの会の応援団



納涼祭にて「牛沢慕情」を合唱

令和8年8月2日(日)に行われた牛沢町納涼祭で、ほのぼの会と緑葉会(中年層を中心とした男性の会)が、中島幸子さん作曲の「牛沢慕情」を合唱しました。地元のお祭りで牛沢町の歌を披露する姿から、地域への愛着(ふるさとを大切にする思い)が感じられました。

ほのぼの会では月に2回、仲間と顔を合わせ、持ち寄った野菜やお茶菓子を囲みながら、好きな歌を歌って楽しい時間を過ごしています。また、会がない日にも、メンバー同士でお裾分けをしたり、お茶を飲みながら話したりと、日常的に顔を合わせています。こうした日頃の交流があることで、ちょっとした悩みや困りごとにも気付きやすくなります。そんな何気ない関係が、日々の暮らしを支える「地域のつながり」になっています。

過去の記事はこちらから



○お問い合わせ 太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 太田市飯塚町1549 TEL 0276-46-6208